

R5.11.17 市町村等在宅医療介護連携担当者会議

医療介護データ活用について  
— R5年度 19市町村医療介護推計分析 —

高齢者福祉課 地域包括ケア推進室

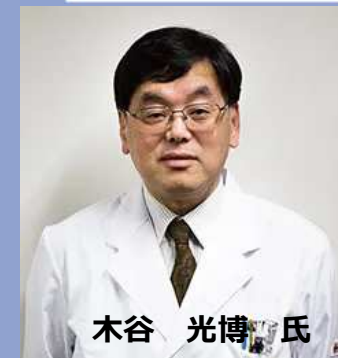


## 地域の医療と介護を考えるトップセミナー

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援のサービスが包括的に確保され、一体的に提供される地域包括ケアシステムを関係する機関が連携して構築していく必要があります。すでに地域包括ケアシステムの構築は2025年から2040年を見据えた議論へとシフトしています。今年度はトップセミナーとして、各市町村における人口推計や医療介護資源の供給量などのバランスをみながら、地域の実情に応じた仕組みづくりを考えていきます。



松田 晋哉 氏



木谷 光博 氏

### 本日の内容

#### ● ご挨拶

13:45～13:55

島根県健康福祉部 部長 安食 治外

#### ● 基調講演 1 「島根県における人口構造の変化と医療介護需要」

14:00～14:45

産業医科大学医学部公衆衛生学教室 教授 松田 晋哉 氏

#### ● 基調講演 2 「益田医療圏域医療連携再構築の現状 2023」

14:50～15:35

津和野共存病院（前益田赤十字病院）院長 木谷 光博 氏

#### ● オンライン上での質疑応答

15:35～16:00

座長 島根県健康福祉部 医療統括監 谷口 栄作

【主催】 島根県高齢者福祉課、島根県医療政策課

松江保健所、雲南保健所、出雲保健所、県央保健所、浜田保健所、益田保健所、隠岐保健所

令和5年度 島根県 地域包括ケアシステム関係機関連絡会議

お問い合わせ：0852-22-6385（高齢者福祉課 地域包括ケア推進室）

# 3

## 令和5年度 重点推進事業（医療と介護の連携）

### 市町村単位での具体的な議論にむけた支援ロードマップ



## ⑩ 10/28 産業医科大学 松田先生勉強会(保健所向け)



## 勉強会のポイント

## ■ どのようにして分析したか？

## 1. 人口構造の変化が医療介護提供体制に及ぼす影響の分析

## (1) 人口推移及び傷病構造の推計

**使用ツール** **AJAPA** (厚生労働省患者調査2019及び国立人口問題社会保障研究所の将来推計2010をもとに産業医科大学医学部公衆衛生学教室が開発した推計ツール)

- ・認知症や糖尿病・高血圧・高脂血症などは副傷病であるため隠れてしまうが、傾向をみればOK。
- ・患者調査は都道府県単位で1,000人あたりの受療率としており、受療率×市町村人数で算出。きっちりやろうと思うとNDBデータを使ったほうが正確ではあるが、データが大きいので、負荷がかかる。

## (2) 介護ニーズの推計

**使用ツール** **NewCarest** (厚生労働省介護保険事業報告2015及び国立人口問題社会保障研究所の将来推計2010をもとに産業医科大学医学部公衆衛生学教室が開発した推計ツール)

- ・都道府県別、性年齢階級別、要介護度別の各サービスの利用率に人口推計をかけている。
- ・公開データのみで作っている。

(3) **SCR** (Standardized Claim Ratio)

**使用ツール** 内閣府、経済・財政と暮らしの指標「見える化」データベース

- ・全国の性・年齢階級別レセプト出現率を対象地域に当てはめた場合に計算に求められる期待されるレセプト件数(全国平均の医療が対象地域で提供された場合に期待されるレセプト件数)で実際の対象地域のレセプトの数を割った数字
- ・ $s c r$ が100よりも高ければ全国平均よりも多く、100よりも低ければ全国平均より少なく、当該医療行為が提供されていることを意味する。
- ・対象地域での医療行為を過剰とみるべきか/不足とみるべきか、充実とみるべきか/抑制的とみるべきか等、 $s c r$ の捉え方は個別の医療行為によって異なってくるため、 $s c r$ の高低だけでは評価できない点に注意が必要。
- ・今回は島根県から提供されたデータをもとに2015年県全体を100として、そこから各圏域を時系列で見えていった。

# 5

## 令和5年度 重点推進事業（医療と介護の連携）

### ⑩ 10/28 産業医科大学 松田先生勉強会(保健所向け)



#### 勉強会のポイント

- 各市町村の傾向について

#### 松田先生より

2. 要介護高齢者の要介護度別にみた主な傷病の有病率の分析
  3. SCRによる島根県の市町村別医療需要、傷病構造の将来推計
- ➔ 大きく分けて、松江市パターンと大田市パターンがある（施策が全く異なることに注目）

#### 松江市

#### 検討の基本的視点

#### 大田市

